



ペンダント

(天井取付専用)

ご使用になられる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方やランプの交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ：配線器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。一般の方の工事は法律で禁じられています。

工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

仕様

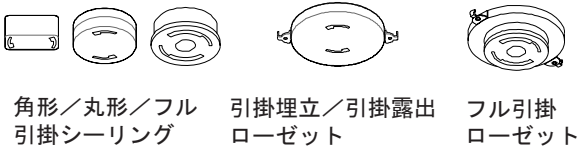
品番	適合ランプ
PF-2576	E26 電球形蛍光ランプ A25形×1灯

この取付説明書のマークについて

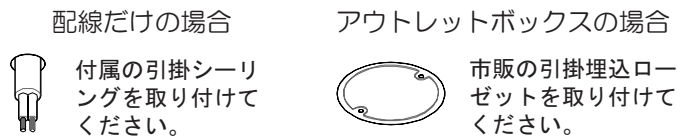
- 警告** 説明書中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。
- 注意** 説明書中の「注意」は、物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
- このマークのついている説明文は、必ず守ってください。
- このマークのついている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

取り付け・取り扱い上の注意

すぐ取り付けられます

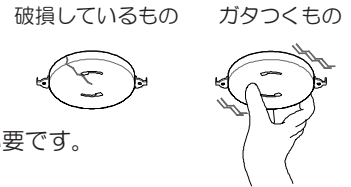


配線器具の取付工事が必要です



警告

- 破損したりガタついている配線器具には取り付けしないでください。配線器具を取り替えてから器具を取り付けてください。
★器具の落下事故や漏電による火災、感電事故の原因となります。
- 樹脂製ボックスカバーには取り付けしないでください。
★器具の落下事故の原因となります。
- 付属の引掛けシーリングボディの取り付けや配線器具の交換は、有資格者による工が必要です。電気店または工事店に依頼してください。★一般の方の工事は法律で禁止されています。
- 一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気の多い場所では使用できません。
★感電事故や漏電の原因となります。
- 次のような場所には取り付けしないでください。★器具の落下事故の原因となります。



- 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。
- エアコンの吹き出し口の近くに設置しないでください。
★器具がゆれて破損する原因となります。
- 器具を布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

注意

- AC100V専用です。必ずAC100Vの電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱し、火災の原因となることがあります。
- この器具は周囲温度5℃～35℃の中で使用してください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。
- ヒビの入ったカバーや一部が欠けたカバーは使用しないでください。
★カバーの破損、落下の原因になります。
- 温度の高くなるもの（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くには設置しないでください。
★器具カバーの変形や火災の原因となります。
- 殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。
- 調光器（ライトコントロール）との併用はできません。
★不良点灯や調光器、照明器具の故障の原因となることがあります。

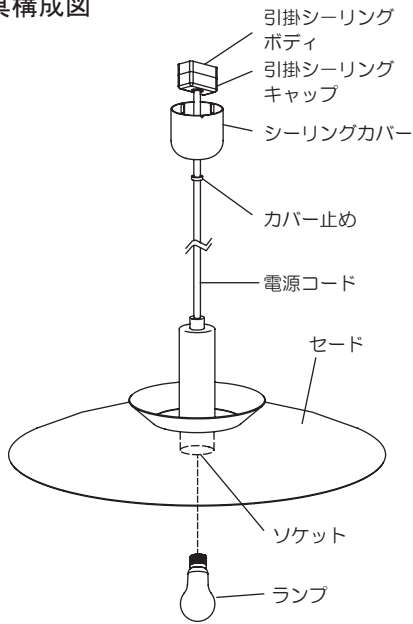


各部の名称

(説明図は、一部を省略抽象化した図です。)

(不足している部品があった場合には、お買い上げ店または最寄りの山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。)

■ 器具構成図



■ 付属品

角形引掛けシーリングボディ・・・1個

取り付けは工事店、または電気店にご依頼ください。



木ネジ (シーリングボディ取付用)・・・2本



コードハンガー・・・1個



E26 電球形蛍光ランプ・・・1個



取付説明書 (本紙)・・・1枚
保証とアフターサービス (別紙)・・・1枚

取付け場所の確認

⚠ 警告

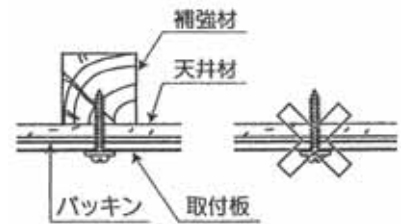
取付板は、必ず補強剤のある場所に取り付けてください。

★補強材のない場所に取り付けた場合、器具の落下事故の原因となります。

⚠ 注意

建物の構造によっては、付属の木ネジで取り付けられないことがあります。その様な場合には、器具取付場所の構造を確認の上、適切な長さの木ネジにて取り付けてください。

★取り付け角度を誤ると器具の落下による「事故」、その他の破損や「けが」の原因となります。



取り付け方法

⚠ 注意

⚠ 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

⚠ 警告

器具の取り付けは、説明書に従い確実に行ってください。

★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

● 器具を取り付ける前に

コードペンダントのコードの長さを調節する方法には次の二通りの方法があります。

付属のコードハンガーを使う方法



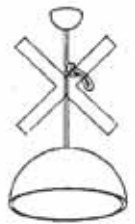
別売の中間ハンガーを使う方法



⚠ 注意

コードを結んで長さを調節しないでください。

★コード切れやショートの原因となります。



* () の項目は、付属のコードハンガーを使用する場合です。コードハンガーを使用しない場合は次の項目に進んでください。

1. (コードハンガーのセット)



① 天井面にコードハンガーヒートンをねじ込みます。取り付ける位置にあらかじめキリなどで穴を開けておくとう便利です。

⚠ 警告 必ず付属のヒートンを使用し、補強材のある場所に取り付けてください。

⚠ 注意 ★器具の落下事故の原因となります。

⚠ 注意 傾斜天井には取り付けないでください。★器具の落下事故の原因となります。

⚠ 注意 ★ペンチ等の工具でねじこまないでください。★破損の原因となります。

② コードハンガーキャップにコードを通します。



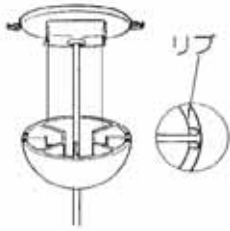
2. 引掛けシーリングキャップの接続

引掛けシーリングキャップを引掛け埋め込みローゼットまたは引掛けシーリングボディに差し込んで時計方向に止まるまで回転させます。



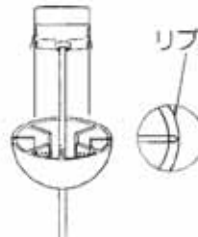
3. フランジを押し上げて引掛けシーリングにかぶせます。

●引掛け埋め込みローゼット



フランジカバーを上から見て、左右に二つの凹み印があるリブを引掛けシーリングボディの短辺側にあわせませす。

●角型引掛けシーリングボディ



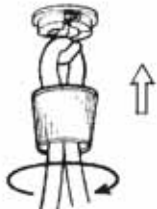
フランジカバーを上から見て、左右に一つの凹み印があるリブを引掛けシーリングボディの短辺側にあわせませす。

●丸型引掛けシーリングボディ



丸型引掛けシーリングボディの場合には、シーリングボディがフランジにかくれません。

4. (コードをコードハンガーに引掛けます。)

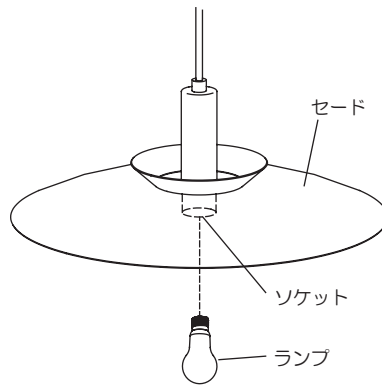


- ① コードを希望の長さに調節し、コードハンガーヒートンにコード引っ掛けませす。
- ② コードハンガーキャップ内側のポッチをコードハンガーボディの溝に差し込み、時計方向に止まるまで回転させませす。
- ③ 取付完了後コードを少し引っ張り、コードハンガーが確実に取り付いている事を確認してください。

5. ランプをセットませす。

●セードの中へ手を差し入れて、ランプをソケットにねじ込みませす。

⚠ 注意 ●ランプは乱暴に扱わないで下さい。
★ランプ割れ等の事故の原因となります。



● スイッチ操作

壁スイッチにて「ON-OFF」操作を行います。

お手入れについて



注意 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

- こまめに清掃を：照明器具やランプが汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。
- ランプ交換について：器具にあったワット数のランプをお求めください。

注意



- ランプの交換やお手入れをするときは、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。
★感電事故の原因となります。



- スイッチを切った直後のランプは熱くなっています。絶対に素手で触らないでください。冷えてから交換するか、またはハンカチやタオル等を使って交換してください。
★火傷の原因となります。
- 濡れた手で触らないでください。
★感電事故の原因となります。



- ランプは乱暴に扱わないでください。
★ランプが割れてけがをする恐れがあります。
- 適合ランプ以外のランプは使用しないでください。表紙の「■仕様」欄を確認し、正しいランプをご使用ください。
★不適合なランプを使用すると異常加熱による火災の原因となります。
- シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり、変色や変質の原因となります。

■お手入れのしかた

1. 電源を切ります。
2. 柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
3. 汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
4. 最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。

■アフターサービスについて

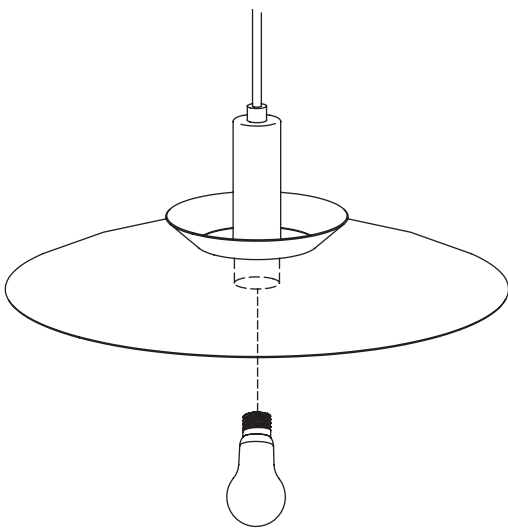
ご使用中、器具が普段と違った状態となりましたらただちに使用を中止し、器具の型番（器具本体のラベルでご確認ください）、故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げ頂きました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口にご相談ください。

ランプの交換

1. スイッチを切ります。



- ランプ交換時、濡れた手でさわらないでください。
★感電事故の事故の原因となります。



2. ランプを交換します。



- ランプは乱暴に取り扱わないでください。
★ランプ割れなどの事故の原因となります。
- ランプを交換する際、カバーががたついていないか確認してください。
ガタつきがある場合には、ソケットリングを締め直してカバーを固定してください。
- ★カバーの破損、落下の原因となります。
- カバーにヒビが入っていたり、一部が欠けている場合には、ただちに新しいカバーと交換してください。
- ★カバーの破損、落下の原因となります。